

研究実施状況報告書

平成 30年 4月 25日

長崎県立大学長 様

研究責任者 所 属 看護栄養学部看護学科
職 名 講師
氏 名 重富勇



受付番号 336	承認番号 324
I 課 題 精神看護学演習のロールプレイ体験による学習効果と教育上の課題	
II 研究期間及び調査期間 研究期間 2017年 4月 1日 ～ 2017年 9月 30日 調査期間 2017年 4月 14日 ～ 2017年 5月 18日	
III 研究の実施状況（該当項目にチェックしてください） <input checked="" type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究が終了した（公表方法：長崎県立大学看護栄養学部紀要） <input type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究を実施した <input type="checkbox"/> 研究計画を変更して研究を実施した 変更審査申請書提出（ 済 ・ 未 ） 変更内容： 変更理由：	
IV 今後の研究の概要（研究が継続の場合）	
V 研究結果の概要（研究が終了の場合） 看護学科3年次生の精神看護学のロールプレイを体験した学生の記録よりデータを抽出し内容別にカテゴリ化を行った結果、学生の学びは、【学生が問題と捉える態度】、【自分の改善点と課題】、【評価が良かった学生の気づき】、【学生と患者との相互的な影響】の4つが抽出された。教育上の課題としてグループでの振り返り時に、映像視聴による自己の気づきと観察役や患者役からのフィードバックを統合させた自己評価ができるよう指導することや、教員を含めた全体振り返り時に、映像を使って状況や状態に合わせた効果的な介入についてのディスカッションを取り入れることも有効と考えられた。	
VI その他報告すべき事項	

※V研究結果の概要については別紙での提出も可